



「パパがやいたアップルパイ」
ローレン・トンプソン／文
ジョナサン・ビーン／絵
谷川俊太郎／訳（ほるぷ出版）
「パパがやいたアップルパイ」は、なぜ「あまくてあつあつのアップルパイ」になったのでしょうか。絵を見て、リズムカルな声で読むと、あなたの前にもパイが…。(K.S)

<一般>



「みんなみんないただきます」
パット・ジトロー・ミラー／さく
ジル・マケルマリー／エ
アーサー・ピナード／やく（BL出版）
感謝祭。家族親戚が集まり、それぞれ役割を担って準備をします。できあがった料理を囲み、幸せでいることに感謝します。家族のつながりを今一度思いおこす絵本です。(S.S)



「ごはんはおいしい」
ぱく きよんみ／文
鈴木理策／写真
（福音館書店）
まっ白な詩のページをめくると写真。つぎつぎと読むうちに巡る自然と家族のぬくもりが広がります。「ごはんいっぱい食べてね」おばあちゃんの声が残ります。(O.K)

2019. 3作成
紹介文後の()は執筆者です。

子どもに読んであげたいこの一冊

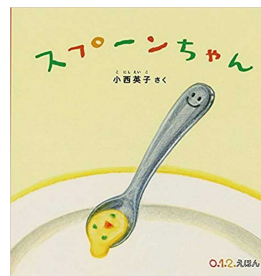
～おいしいおはなし～

秋田県子ども読書支援センター支援員お薦めの本

<およそ0～3歳>



「な～んにみえる？わくわくパン」
制作 コローロ
（赤ちゃん和妈妈社）
いろんなかたちのおいしそうなおパン。メロンパンにチョココロネ…、その変身ぶりがなんともわくわく！(S.K)



「スプーンちゃん」
小西英子／さく
（福音館書店）
ページごとにお顔がいきいきと変化するスプーンちゃん。プリリンリン、コンコンなどことばもはずんでおいしそう。(O.K)

<およそ4、5歳>



「オムライスヘイ！」
武田美穂（ほるぷ出版）
オムライスを「ヘイ！」というかけ声とともにリズムカルに作っていきます。フライパンが中央に大きくえがかれ迫力満点。作ってみたくになります。(K.Y)



「からすのパンやさん」

かこさとし（偕成社）
 からすのパンやさんに4羽の赤ちゃんが生まれ、お父さんとお母さんはお店と子育てに大忙し。大きくなった子どもたちも力をあわせてパン作り。香ばしいにおいが森中に広がって、大勢のお客さんがいーっぱい…。(S.K)

〈およそ小学校低学年〉



「おさかないちば」

加藤休ミ（講談社）
 いちばでぼくはお魚に会った。大きなマグロ、ピューと水を出している貝、こわいオコゼ。タイラギという貝も。いちばのようすがいきいきとえがかれています。(T.T)



「ワタナベさん」

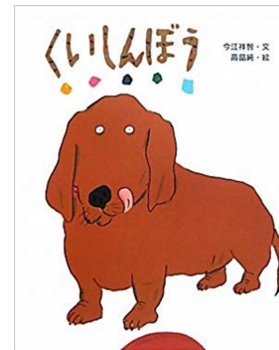
北村直子（偕成社）
 なべひとつでりょうりをつくるワタナベさん。おきゃくさんのちゅうもんをつぎつぎつくりまします。さいごはナポリタン。さて、つくれるでしょうか。(W.J)

〈小学校中学年〉



「ぎょうざつったの」

きむらよしお／さく（福音館書店）
 るすばんの日、友だちとぎょうざ作り！歌いながら楽しく作りました。でも、でき上がりを見たみんなは「まずそう」「へんなの」「もう帰る」。さて、結末やいかに。(Y.Y)



「くいしんぼう」

文：今江祥智 絵：高畠 純（文研出版）
 犬のボッシュ。食べすぎてオットセイみたいだからかわれ「オットー」と呼ばれています。ある夜のこと、目の前にぶあつい肉を投げたのは、なんとどろぼう！どうするボッシュ。(I.K)

〈およそ小学校高学年〉



「300年まえから伝わる

とびきりおいしいデザート」
 エミリー・ジェンキンス／文
 ソフィー・ブラッコール／絵
 （あすなろ書房）
 ブラックベリー・フルは300年も前から伝わるおいしいデザート。その作り方は時代によって様々です。4つの時代の4つの物語が紹介されているので比べてみてね。(M.T)